

地域再生とまちづくり

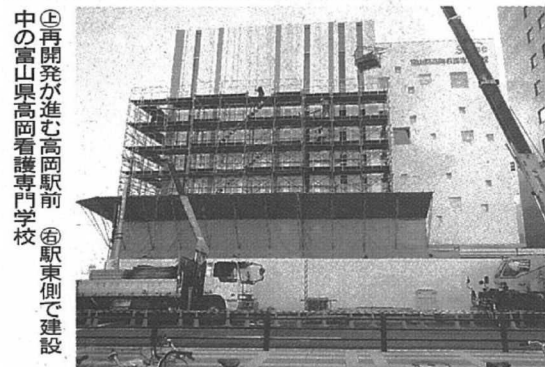
— 各都市が目指すものは

<第30回>

高岡市は富山県北西部に位置する人口約17・5万人の県内第2の都市である。古くは万葉集の歌人として知られる大伴家持が国司として赴任した越中国府が置かれ、また江戸時代には加賀藩2代藩主である前田利長により城下町が開かれるなどしたことから、高岡市には富山市にない歴史的な重みを感じられる。

シャッター街の様相

中心商業地は高岡駅の北側で末広町、高の宮通り、御旅屋通りなどからなる商店街で



④再開発が進む高岡駅前 ⑤駅東側で建設中の富山県高岡看護専門学校

富山県高岡市・旧市街地で始動した活性化事業

特に02年に「イオンモール」の整備に力を入れており、14年には駅の橋上化に伴い商業に計画中であ

高岡」が高岡駅の南方約1・5km圏に出店したことで商圏が大きく移動。15年には同店舗の近隣に北陸新幹線の新高岡駅が新規開業し、特急が廃止され、高岡駅が地元住民を対象とした第三セクターの駅となったため、中心商店街はシャッター通りの様相を一層強めている。

まず高岡駅周辺整備

こうした中心商店街の衰退の流れから、高岡市は中心市街地活性化基本計画を策定して賑わいの創出や活性化を進めている。特に高岡駅周辺の整備に力を入れており、14年には駅の橋上化に伴い商業に計画中であ

施設「クルン高岡」を新設し地下街のリニューアルも実施。現在は駅東側で「富山県高岡看護専門学校」を核とする再開発ビルやビジネスホテルの建設が進められている。両施設とも17年春頃に竣工予定である。また駅正面では富山銀行の本店ビルが19年春頃の完成を目前に計画中であ

新幹線開業で危機感 3セク化で特急廃止

り、今後、駅周辺は大きく様変わりすることが予想される。更に末広町商店街の一画では、店舗と100戸程の分譲マンションからなる複合ビルが再開発により19年春頃に完成する予定である。

高岡駅と新高岡駅の周辺にはそれぞれ地価公示地点があり、16年1月時点の地価は高岡駅地点が1㎡当たり10・9万円、今後、駅周辺は大きく様変わりすることが予想される。更に末広町商店街の一画では、店舗と100戸程の分譲マンションからなる複合ビルが再開発により19年春頃に完成する予定である。

旧市街地の火を守るため、高岡駅周辺整備の一層の拡充と迅速な対応が求められる。(日本不動産研究所富山支所 不動産鑑定士・広瀬信之)

円、新高岡駅地点は10・1万円である。高岡駅地点はダブル

両地点の地価の推移

